



# 校長室だより

黒部市立村椿小学校  
令和8年5月19日  
文責：校長 齊木 裕

## 黒部の水って、恵まれているな ～黒部名水会による授業～

5月14日（木）に4年生を対象に、黒部名水会の方による授業がありました。黒部名水会は、豊かな黒部の水を守り、そのすばらしさを全国にPRするために昭和62年3月に設立された団体です。4年生が対象なのは、社会科の授業で「わたしたちのくらしと水」という単元で学習することになっているためです。

子供たちは、名水会が尋ねたことに対して、本当によく反応していました。その様子から、4年生の子供たちは、ものをよく知っているなど実感しました。どうしてこんなに意欲的に反応できたのか考えてみました。もちろん名水会の方々の話術の素晴らしさにより、子供たちがその気になったこともあると思いますが、下記のことが一番の要因ではないかと考えました。

### 授業前の子供たちの考え

黒部は、水が豊富で  
清水がたくさんある。  
黒部は名水の里で  
水が当たり前にある。



### 授業で学んだこと

地球の三分の二が海水でおおわれているが  
人間が使える水は、0.01%しかない。  
バスタブの水のスプーン1杯しか使えない。  
泥水を飲むしかない国もある。

授業が進んでいくうちに、自分たちが当たり前と思っていることが、当たり前でないことに気付いてきて、なぜだろうという疑問をもったため、最後まで意欲的に反応していたように思います。特に授業の後半は、黒部の水が豊富なことについて、説明があり、疑問の解決につながっていたように思います。普段の授業もこのような当たり前と思っていることが、当たり前でないものを教材にもってくると子供たちがくいついてくると思います。  
【ある子供の名水会授業後の感想】

地球上で飲める水は、0.01%ということを知ってびっくりしました。地下水が自噴するまで30年～40年かかることを知り、すごくびっくりしました。地球には、196か国もあるのに水道から出る水をそのまま飲める国が12か国しかないことを知って、水が大事だとあらためて思いました。黒部は、今は水があるけれど、いつかなくなるかもしれないので、大切につかおうと思いました。これからも黒部を世界に自まんしたいなと思いました。

社会科では、5月中旬から水の学習に入り、上水道、下水道の見学も予定をしています。名水会の授業から、より意欲的に学習することを願っています。